



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方におのみお送りしています

第 63 号(2013 年 1 月 17 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

成人式を迎えられた皆様、おめでとうございます。

目次

- 年頭にあって
- 最近の話題

- 
- 年頭にあって
- 

みなさま、本年もよろしくお願ひいたします。

21世紀に入ってから、13回目の正月を迎えたこととなります。私には、コンピュータの誤作動の可能性を指摘した2000年問題の記憶がいまだに鮮明であり、あれから13年も経ったことなど、にわかには信じがたいことですが、いま少し記憶を過去に遡らせてみましょう。

197、80年代のことです。アメリカの未来学者ハーマン・カーンは、『超大国日本の挑戦』の中で「21世紀は日本の世紀」と予言しました。また社会学者のエズラ・ヴォーゲルは、『ジャパン・アズ・ナンバーワン—アメリカへの教訓』を著し、義務教育の水準や会社への忠誠心、長寿社会など、日本の優れた面を指摘して、アメリカへの教訓としました。これらが著された時期は、2度にわたるオイル危機を乗り越えて競争力を強化した日本経済が絶頂に至る時期とほとんど重なります。そのせいもあってか、もやは追いつくべき国も、モデルとして恃むべき国も見当たらず、日本こそナンバーワンとの錯覚が生まれました。その後の展開については、改めて述べるまでもないでしょう。

ここで過去の記憶を辿ったことについては、理由があります。昨年8月の刊行以来、引用の形で何度か目にした書物に『2050年の世界』（文藝春秋）があります。副題にもなっているように、イギリスの「エコノミスト」誌による予測で、人口、経済、技術、科学、女性など、20分野について予測されています。ただ、引用の形で目にした項目はつぎのようなものです。①1人当たりのGDPをアメリカを100として表記した場合、2030年では韓国87.8、中国32、日本63.7、50年においてはそれぞれ105、52.8、58.3となっていること、②世界のGDPに占める日本の割合が30年3.4、50年1.9と予測されていること（因みに2010年5.8）（以上、第12章）、③50年までに被扶養者数と労働年齢成人数が肩を並べる「日本は世界史上最も高齢化の進んだ社会になる」と予測されていること（第1章）です。

さて、はじめに辿った記憶とそのあと引用した予測を比べてみて、みなさまはどのような感想なり、意見をもたれましたか。いうまでもありませんが、私には予測の当否を云々する資格も能力もありません。したがって、「日本の世紀」が「失われた10年、20年」に変貌していたとしても、過去の予測を非難したり、将来の予測を無意味だと決めつけるつもりは毛頭ありません。ただ、明るい予測に奢ったり、暗い予測に悲観しすぎることは、しないでおこうと考えています。

普段は思いもしない、大風呂敷を広げたような話になりました。これも、新年というひとつの節目のせいかもしれません。正月に免じて、お許しを乞いたと思います。

最後に、今年もまた、みなさまにとりまして、法学部にとりまして、よい一年となりますよう祈念いたします。

法学部長 小山 正善

-----  
○ 最近の話題  
-----

2012 年度法学検定試験結果が出ました。

ベーシック〈基礎〉コース

合格者 92 名 合格率 89.3%(全国 61.5%)

スタンダード〈中級〉コース

合格者 43 名 合格率 72.9%(全国 51.5%)

全国平均を大幅に上回る合格率となっております。

特に中級コースは、合格率全国 1 位で合格者数全国 2 位でした。

非常に優秀な成績を収め、来月東京で開催される表彰式に招待を受けたことをご報告いたします。

- .....
- ・本メルマガは、毎月 2 回程度配信しています。
  - ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。  
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
  - ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
  - ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。  
<http://www.law.okayama-u.ac.jp/local/mail/>
  - ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp) まで。